

「体育・スポーツと文化の振興」に関する主な意見

1 体育・スポーツの振興

- スポーツの在り方が変化してきた。スポーツは自分を成長させるものから、自分が楽しむために自分で準備し、さらに困っている人やうまくできない人のために手を差し伸べる自律的社会貢献型のスポーツへと変化してきた。
- スポーツインテグリティ（スポーツの教育性・健全性）を子供たちに教育することを考えると、体育科教育、あるいは教科体育だけでは無理な話である。教科道徳や総合的な学習の時間を活用しながら、スポーツインテグリティの問題に踏み込み、子供たちの認識を高めることが必要である。
- 運動部活動のガイドラインを遵守して、学校における働き方改革を進めるとともに、競技力を低下させないためには、指導教員がスポーツ医科学について研修したり、指導法を再度見直したりして、指導力の向上を図ることが大切である。
- 総合型地域スポーツクラブは、地域住民の健康づくり、介護予防、さらに子育て支援、学校との連携、障害者スポーツについても関わりを持ち、取り組んでいる。地域をつくるツールとして、総合型地域スポーツクラブをもう一度見直す必要がある。
- 単に地域の人たちが総合型地域スポーツクラブに参加するのではなくて、運営に参画してもらうことで、スポーツによる地域づくりが可能になる。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、ボランティアに参加した人が、継続してボランティア活動に関わる仕組みを作ることを提案する。そのためには、スポーツから始めたボランティアを、災害、福祉、教育、文化などのボランティアへ、その活動領域を往還したり、融合したりできるような組織やコーディネーターを育成する必要がある。
- 幼児期の子供がきちんと運動できるように、保育者の資質能力の向上が必要である。また、小学校、中学校、高校では、スポーツ指導者や運動部活動の指導者の人材育成が必要である。

2 文化の振興

(1) 史料の保存

- 少子高齢化の不可逆的な進行の中で、地域社会が衰退、消滅することが避けられ

ない状況である。このような中で、今ならまだ救う（把握する）ことのできる膨大な史料をこれからどうやって伝えていくのか、千葉県にとって大きな問題だと思う。

- 地域の自然、歴史、文化資料を次世代へ残すためには、地域の文化財を自分たちで決めることができる住民を増やすことが大切である。そのためには、学校が、文化的な拠点となり、地域住民と学区の歴史を共有できる環境をつくる必要がある。
- 千葉県が全国に先駆けて、自然・歴史・文化資源を全県レベルで把握し、記録し、活用しながら保全する、長期的で具体的な行動計画、ロードマップの作成に取り組んでほしい。
- ちば文化資産については、大いにピーアールしてもらいたい。観光とも連携し、千葉県民の誇りになると思う。

（２）博物館

- 千葉県は、これまで全国的にもモデルとなるような地域の特色に応じたきめ細かな博物館活動を行ってきた。今後は、博物館や図書館の集中や統合が行われても、全県的な博物館活動のレベルを向上させていくことが大きな課題である。最初に観光ありきではなく、地域住民にとって楽しい博物館、いつ来ても新しい発見のある博物館、地域住民が何度でも足を運ぶ博物館を目指すべきである。
- 博物館・図書館・文書館の連携、MLA 連携を実現し、千葉県は MLA 連携の先進県を目指してほしい。
- 図書館や博物館については、各市にその市の歴史や文化を伝える博物館と図書館がきちんとあるようにして、県と市がそれぞれの役割分担を決めて、連携・協力する体制をつくってほしい。

（３）地域・学区の歴史

- 地域の歴史を本当に地域の住民がわかっているのか、理解できているのか、学ぶ機会があるのか、資料を見ることができるのか、という問いかけをしてみると、子供たちが「地域の歴史を自ら学ぶ」ことの重要性については、いくら強調しても足りない。子供と一緒に学区を歩いて、学区の歴史を学ぶ学習に取り組んでほしい。
- 今年、中国・四国地方でおこった水害も、東日本大震災のときの津波も、被害を大きくした歴史的根拠がある。そこでは、地域を襲った災害の歴史を学ぶことの大切さがわかる。学校と地域社会との連携を大切にし、その連携を実現するためには、学区の歴史を学ぶことから始める必要がある。
- 学校と教師集団が、地域社会、特に学区の中で文化的な拠点となること、地域の中で学校が知的権威として復権できるかが問われている。地域の教育力とは、地域の歴史を学び、現在の課題を発見する力だと思う。

- 千葉県が、地域の芸能や民俗文化財を保存し、伝えていく努力をしていることはよく理解しているが、学区の歴史を共有し、学区の中にある文化財、後世に伝えるべき地域住民が自ら自分たちの文化財を発見するところから始めるような道筋についても考えてほしい。

- 郷土学習、故郷学習は、一番重視すべきものの一つだと思う。自分の学校の歴史を学ぶ自校教育も、学区を学ぶ学習につながる。郷土の先哲などについて学ぶ学習も、併せてやってほしい。